

インタラクティブデザイン基礎演習



最終課題発表会でコンセプトを説明する学生たち

川崎土産の菓子を考案

最終課題発表会に26作品

ネットワーク情報学部
のインタラクティブデザイン基礎演習(指導員上平崇仁教授ら3教員)では、デザインのために必要な表現や技術を学び、製品やパッケージ、ウェブサイトの開発に取り組み。前期は2年次生104人がグループに分かれ、ストーリーや見た目などの付加価値を築き始める菓子を考案。7月24日、生田キャンパスで最終課題発表会があり、26作品が発表された。

フランス菓子のプールミッシュ社(東京都)が協力。同社が作ったドライ杏のシロップ漬けとマジパンのプティフル(一口サイズの菓子)を題材に、川崎土産となる菓子のアイデアを練った。

内田貴大さん、外山水葵さん、新見紋加さん、アズハリ・モハメドさんが考案した「星華」は、多摩川の火花に見立てた6色の菓子。和紙を貼った六角形のパッケージの内側には火花の解説を添えた。内田さんとモハメドさんは「食べながら火花の思い出を振り返ってほしい」と話した。

久保田誠彬さん、柴田裕香さん、鈴木日南乃さんが考案した「ほたるの住む町」は、中村圭太さんは「ほたるの飛び続けてほしい」と話した。

菓子の中央のドライ杏を蜜が放つ光に見立てた。生田緑地に蜜を見に行き、イメージを膨らませたという。ドーム状のパッケージの内側には2匹の蜜の出会いをイメージした物語を記した。メンバーは「生田緑地で今後も蜜が飛び続けてほしい」と話した。



火花をイメージした色鮮やかな6色のマジパンが特徴の「星華」



ドーム状のパッケージが目を引く「ほたるの住む町」

司書業務を体験 高校生15人

高大連携協定校、教育交流提携校の高校生が図書館司書の仕事を一日体験する司書インターンシップが、7月24、26、28日に生田キャンパスの図書館本館で行われた。

2007年度から高大連携プログラムの一環として実施しており、今年度は3日間で6校から延べ15人が参加した。



職員とともに受け入れ作業に取り組む高校生

データを入力した。受け入れや整理を体験した浦和学院高の2年生男子は「今回の体験により、漠然としたイメージだった司書の仕事を詳しく理解することができた」と話した。

高校生向けのデザインワークショップ

Cシャツ作りに挑戦

高校生がデザインしたTシャツがコミュニケーションのきっかけに。ネットワーク情報学部は、高校生向けデザインワークショップを8月6日、生田キャンパスで初めて開催した。AO入試で同学部の受験を考えている高校生や教育課程指定連携校から16人が参加。上平崇仁教授や専大生のサポートを受けながら、オリジナルデザインを学んだ。

versatation(会話)、Challenge(挑戦的な)を意味する。ワークショップでは、「調べる」「ねらう」「さだめる」「つく」をテーマに、それぞれ作品をどう感じるか、感想を話し合った。

AO入試での受験を考えているという3年生男子のCシャツは表情豊かな人の顔で口の形が特徴的。「口を強調することで、文字がなくても言葉を確認することができ、コミュニケーションにつながるのではないか」と話した。

プロジェクト中間発表会が7月22日、生田キャンパスであった。ポスター展示やウェブサイ、映像上映や作品展示など、さまざまな手法を用いて、取り組みを紹介した。写真、ネットワーキング情報学部の学

習部3年次の必修科目「プロジェクト」の中間発表会が7月22日、生田キャンパスであった。ポスター展示やウェブサイ、映像上映や作品展示など、さまざまな手法を用いて、取り組みを紹介した。写真、ネットワーキング情報学部の学



専大生のサポートを受けながらパソコンを使ったデザインに取り組む高校生

「プロジェクト」はグループワーク型の演習科目。教員や学生自らが取り組む。AO入試で同学部の受験を考えているという3年生男子のCシャツは表情豊かな人の顔で口の形が特徴的。「口を強調することで、文字がなくても言葉を確認することができ、コミュニケーションにつながるのではないか」と話した。

プロジェクト中間発表会が7月22日、生田キャンパスであった。ポスター展示やウェブサイ、映像上映や作品展示など、さまざまな手法を用いて、取り組みを紹介した。写真、ネットワーキング情報学部の学

習部3年次の必修科目「プロジェクト」の中間発表会が7月22日、生田キャンパスであった。ポスター展示やウェブサイ、映像上映や作品展示など、さまざまな手法を用いて、取り組みを紹介した。写真、ネットワーキング情報学部の学

習部3年次の必修科目「プロジェクト」の中間発表会が7月22日、生田キャンパスであった。ポスター展示やウェブサイ、映像上映や作品展示など、さまざまな手法を用いて、取り組みを紹介した。写真、ネットワーキング情報学部の学

高校生のための英語学習法 文学部2教員が講師



高校生の質問に丁寧に答えるフリックマン准教授

「ポッターで学ぶ会話術」、ジェフリー・フリックマン准教授が「ジュエスチャーの使い方」をテーマに授業を行った。フリックマン准教授は「話す英語」を本物にするために、効果的なジュエスチャーの入れ方や、声の抑揚をつけるコツを分かりやすい英語で説いた。

英語の話す、聞く、書く、読むを楽しく学んでほしいという思いで、米文学部公開セミナー「高校生のための英語学

習法」が7月1日、生田キャンパスで行われた。神奈川県などの高校から36人が参加した。並木信明教授が「ハリ